

建設産業担い手確保連携推進会議

日 時 令和4年3月22日（火）

午後3時から午後4時30分

場 所 宮崎県防災庁舎5階 防53号室

次 第

1 開会

2 あいさつ

宮崎県県土整備部次長

・上昇傾向

・新規事業

・労力不足

・ホテルサイト

3 説明

(1) 建設産業の担い手の確保・育成に向けて

(2) 人材育成・確保の取組

①宮崎県建設業協会青年部の取組等

4 意見交換

(1) その他の人材育成・確保の取組について

・各教育機関

・各業界団体

・老熟化

・効率的

・4週8休

(2) 令和4年度新規事業について

・ホテルサイト / 有馬氏(県協会)

{ 技能者 別々
技能者 }

公共
・総量規制
R6~

(3) その他

↓
技能士 CCUS

5 閉会

・在園→ホテルサイト
紹介有16名

・海洋高規格化

・長崎氏: 4校

建設システム科

・松野氏: 8校

1721名

553 2890名

・杉本

33名

2名

・場所

東京・大阪

給料

17万円ほどではない

・Uターン

女子 50%以上
女性向け専用
保護者向け対応

県内
宮工: 17名(16名)
9名(3校)

日向工: 19名(8名)

都城工: 14名(25名)

・インターンシップ

・技能

・161名(意見交換)

・ビジュアル化(ホテルサイト)

県外→Uターン

・エリファティネーター

3校 鹿児島県出身

県内教育機関報告

		県内	県外	
県工業高校部会	宮崎工業	17	16	県内17名の内建築関係は9名で8名は他業種へ就職
4校	日向工業	19	8	県内就職率が高い。
	都城工業	14	25	県外大手会社への就職が多い。県内も都城以外の地位域へ就職が多い。
				海洋高校・本庄高校生も建設関係に興味がある生徒もかなりいる。
農業高校部会				昭和53年には2890名の生徒。現在1721名と激減している。
8校				農業関係が多く農業土木では地方公務員へ35名程度就職。
都城高専		2	33	東京・大阪で働きたい。終身は考えていなく給与等の条件により、転職する
				五割は鹿児島出身者で地元へ就職。宮崎県出身者は1割程度である。
				建築関係は県外企業含め300社以上。大手ゼネコンの条件が良い。
				大手は女性専用のHP作成し、働き方の感想等きめ細かく女性技術者確保努力。
				高専の場合は、就職先の親の意見がかなり強いようである。大手志向
				保護者向け対策が必要では？
				Uターンしたい場合、研究室の先生へ相談がある場合が多い。連携必要
宮崎大学		1		資料の通り県内建設企業への就職は3年間で一人。
				大手ゼネコン・公務員へ希望者が多い。
				Uターンしたい場合、研究室の先生へ相談がある場合が多い。連携必要



建設産業の担い手の 確保・育成に向けて

令和4年3月22日

建設産業担い手確保連携推進会議

宮崎県県土整備部管理課



日本の
ひなた
宮崎県

1

◎建設投資や担い手の状況



日本の
ひなた
宮崎県

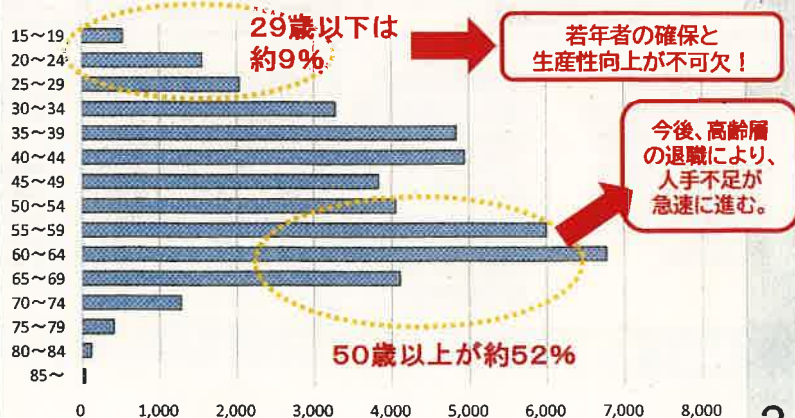
- 本県建設産業は、GDPの約7.5%を占める主要産業。(国は同5.7%)
- 一方で、ピーク時から建設投資は半減。許可業者数は約3割減。
- 担い手の少子高齢化が進み、今後もさらに深刻化する懸念。
- 地域経済と雇用を下支えするとともに、社会資本の整備・維持管理や災害対応など、「地域の守り手」である建設産業の持続的発展は、喫緊の重要課題。

■建設投資額と許可業者数、就業者数

投資額(億円)			
	ピーク	R2	増減率
全国	877,088	548,047	▲ 37.5
宮崎県	8,802	4,219	▲ 52.1
許可業者数			
	ピーク	R2	増減率
全国	609,980	473,952	▲ 22.3
宮崎県	6,448	4,316	▲ 33.1
就業者数			
	ピーク	H27	増減率
全国	6,711,000	4,341,338	▲ 35.3
宮崎県	67,292	43,763	▲ 35.0

(建設総合統計年度報、許可業者数調査、国勢調査)

建設業就業者の年齢構成
(H27国勢調査～43,763人の内訳)



2

◎建設産業が衰退すると・・・



3

◎建設産業の持続的発展に向けて

- 就業者の減少が続く中で、
「働き方改革」、「生産性向上」、「災害対応力の強化」を柱とする
新・担い手3法に基づく取組を重点的に進めているところ。

新・担い手3法（品確法と建設業法・入契法の一体的改正）の概要

○発注者の責務 ・適正な工期設定 ・施工時期の平準化 等 ○受注者（下請含む）の責務 ・適正な請負代金・工期での下請契約締結	○発注者・受注者の責務 ・情報通信技術の活用等による生産性向上	○発注者の責務 ・緊急性に応じた随意契約・指名競争入札等の適切な選択 ・災害協定の締結 等	○調査・設計の品質確保
働き方改革の推進	生産性向上への取り組み	災害時の緊急対応強化 持続可能な事業環境の確保	品確法
○工期の適正化 ・公共工事の発注者が、必要な工期の確保と施工時期の平準化のための措置を講ずることを努力義務化	○工期の適正化 ・著しく短い工期の禁止 ・工期に関する基準の作成 ○現場の処遇改善 ・社会保険加入を許可要件化	○技術者に関する規制の合理化 ・監理技術者を補佐する者(技士補)を配置する場合、監理技術者の兼任を容認 等	○災害時における建設業者団体の責務の追加 ○持続可能な事業環境の確保 ・経営管理責任者に関する規制を合理化 等
入契法		建設業法	

産業としての
魅力を高め、
若者に訴えて
いくことが重要

キーワード

- 適正な工期や利潤の確保
- 長時間労働の是正
- 従事者の処遇改善

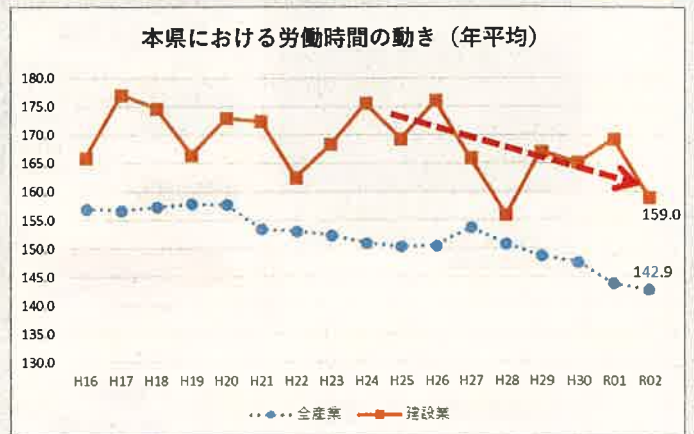
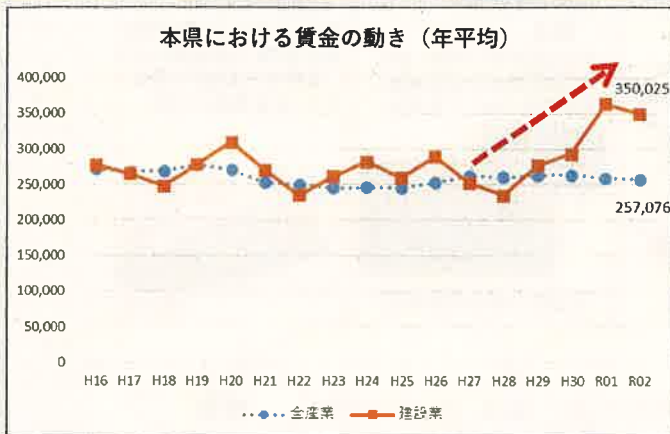
4

◎変化してゆく建設産業①



日本の
ひなた
宮崎県

- これら取組もあり、建設産業は、かつての3K(きつい・きたない・危険)
⇒新3K(給料が適正・休暇が取れる・希望が持てる)へと変化しつつあります。



(毎月勤労統計調査)



- 給与は伸び、労働時間は下がる傾向にあります。

※ 給与は、電気ガス水道業、金融・保険業に次ぐ高水準です。

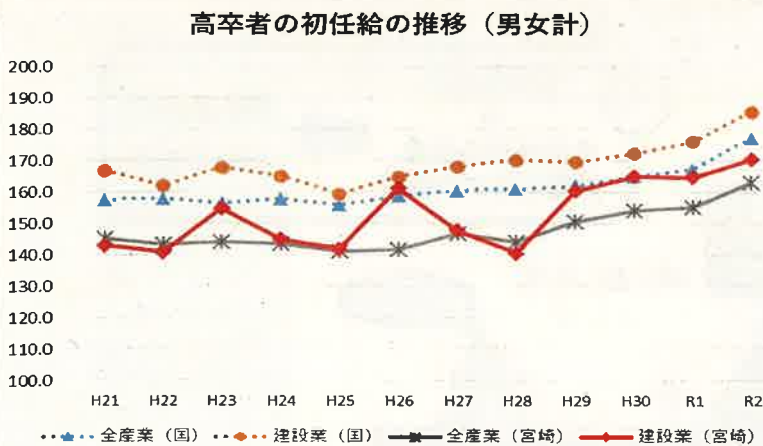
※ 背景には、設計労務単価の毎年の上昇や、週休2日工事等の実施があると考えられます。

5

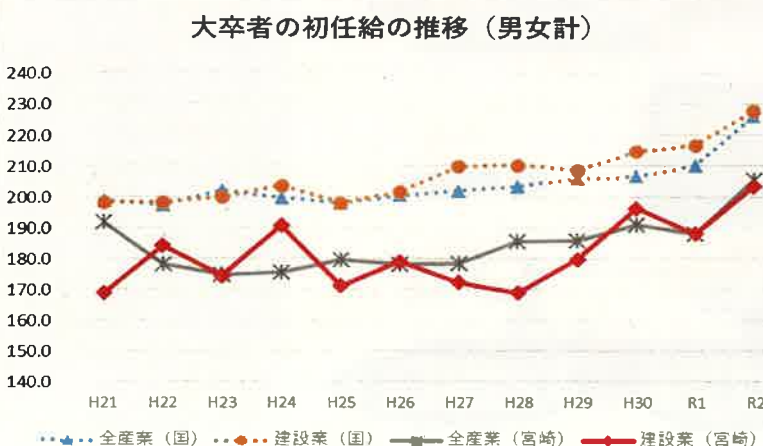
◎変化してゆく建設産業②



日本の
ひなた
宮崎県



- 高卒者の初任給水準は、全国と比較しても遜色ありません。



- 大卒者の初任給水準は、全国との乖離があります。



(賃金構造基本調査)

6

◎変化してゆく建設産業③



日本の
ひなた
宮崎県

- 生産性向上・働き方改革に向けたICT活用工事を進めています。

[実際の現場の声(例)]

- 工期が短縮。 ○高精度な施工で品質が向上。
- 事故リスクの大幅な削減。

①ドローン等による3次元測量



ドローン等による写真測量等により、短時間で面的(高密度)な3次元測量を実施。

②3次元測量データによる設計・施工計画



3次元測量データ(現況地形)と設計図面との差分から、施工量(切り土、盛り土量)を自動算出。

③ICT建設機械による施工

3次元設計データ等により、ICT建設機械を自動制御し、建設現場のIoT(*)を実施。



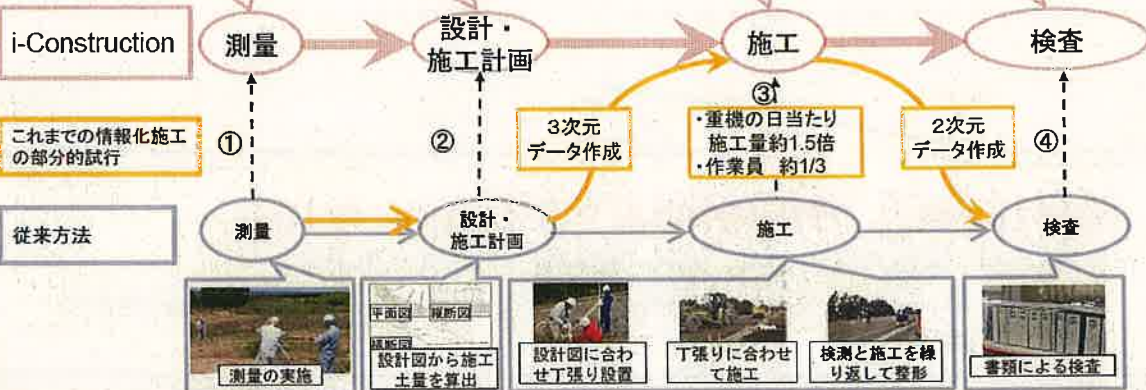
※IoT(Internet of Things)とは、様々なものにセンサーなどが付され、ネットワークにつながる状態のこと。

④検査の省力化

ドローン等による3次元測量を活用した検査等により、出来形の書類が不要となり、検査項目が半減。



免注者



7

◎変化してゆく建設産業③



日本の
ひなた
宮崎県

ICT施工のイメージ

従来



ICT施工



生産性向上
+
労働時間の短縮、
労働環境の改善等

若年者などの
担い手確保

8

◎変化してゆく建設産業④

日本の
ひなた
宮崎県

● 建設技能者の適正な評価や処遇改善につながるCCUSの普及が進められています。

- 「建設キャリアアップシステム」は、技能者の資格、社会保険加入状況、現場の就業履歴等を業界横断的に登録・蓄積する仕組み
- システムの活用により技能者が能力や経験に応じた処遇を受けられる環境を整備し、将来にわたって建設業の担い手を確保
- システムの構築に向け官民（参加団体：日建連、全建、建専連、全建総連 等）で検討を進め、平成31年1月以降システムを利用できる現場に限った「限定運用」を開始し、限定運用で蓄積した知見を踏まえ、平成31年度より「本運用」を開始

本県においても、CCUS活用モデル工事を発注するなど、活用促進の後押しを進めています。

<建設キャリアアップシステムの概要>



9

◎変化してゆく建設産業⑤

日本の
ひなた
宮崎県

◆週休制の形態

【労働条件等実態調査 ※注）抽出サンプル調査】

	回答事業所 計	週休1日	週休1日半	完全 週休2日	その他の 週休2日	週休 3日以上	その他
全体	636	51	38	218	253	1	75
	(100.0)	(8.0)	(6.0)	(34.2)	(39.8)	(0.2)	(11.8)
建設業	84	10	4	17	45	0	0
	(100.0)	(11.9)	(4.8)	(20.2)	(53.6)	0.0	0.0
製造業	69	4	3	18	34	0	10
	(100.0)	(5.8)	(4.3)	(26.1)	(49.3)	0.0	(14.5)
運輸・通信業	66	5	1	18	29	0	13
	(100.0)	(7.6)	(1.5)	(27.3)	(43.9)	0.0	(19.7)
卸・小売業	123	8	11	27	64	3	10
	(100.0)	(6.5)	(8.9)	(22.0)	(52.0)	(2.4)	(8.1)
金融・保険業	47	0	0	44	3	0	0
	(100.0)	0.0	0.0	(93.6)	(6.4)	0.0	0.0
サービス業	232	16	13	109	29	0	0
	(100.0)	(6.9)	(5.6)	(47.0)	(12.5)	0.0	0.0
その他	32	4	0	9	5	0	0
	(100.0)	(12.5)	(8.3)	(28.1)	(15.6)	0.0	0.0

○7割以上の企業が
週休2日を
実現しています。

◆年休取得日数

	回答事業所 計	平均付与日数	平均取得日数	取得率
全体	594	15.6	8.5	54.5
建設業	77	13.8	8.4	60.9
製造業	66	15.4	9.7	63.0
運輸・通信業	63	16.2	8.6	53.1
卸・小売業	115	15.9	7.6	47.8
金融・保険業	42	18.3	8.0	43.7
サービス業	205	15.3	8.6	56.2
その他	26	15.8	8.5	53.8

○年休についても
他産業並に取得しています。

10

◎建設産業への就職状況について。

- 教育機関・産業界・県を挙げた県内就職促進の取組に加え、
新型コロナウイルスを契機とした地元回帰の動きも追い風となり、
新卒者の建設産業への県内就職率は、上昇傾向にあります。

		高校卒業生就職状況（学校基本調査）						高等教育卒業生就職状況（県産業政策課調べ）					
		合計	県内		県外			合計	県内		県外		
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
R3.3卒 (R02fy)	総数	2,647	1,602	60.5	1,045	39.5		2,247	1,035	46.1	1,212	53.9	
	うち建設業	10.9% 290	156	53.8	134	46.2	4.6% 103	25	24.3	78	75.7		
R2.3卒 (R01fy)	総数	2,881	1,671	58.0	1,210	42.0		2,290	953	41.6	1,337	58.4	
	うち建設業	9.9% 284	159	56.0	125	44.0	3.9% 91	15	16.5	76	83.5		
H31.3卒 (H30fy)	総数	2,949	1,708	57.9	1,241	42.1		2,363	1,023	43.3	1,340	56.7	
	うち建設業	8.7% 256	122	47.7	134	52.3	3.7% 88	17	19.3	71	80.7		
H30.3卒 (H29fy)	総数	2,826	1,606	56.8	1,220	43.2		2,359	1,017	43.1	1,342	56.9	
	うち建設業	8.4% 238	115	48.3	123	51.7	2.8% 65	11	16.9	54	83.1		
H29.3卒 (H28fy)	総数	3,031	1,691	55.8	1,340	44.2		2,326	1,030	44.3	1,296	55.7	
	うち建設業	9.3% 282	136	48.2	146	51.8	4.6% 107	24	22.4	73	68.2		

11

◎県や業界で取り組んでいること。

建設産業のPR・理解促進、キャリアアップ支援

現場見学会や
インターンシップ

就活ガイドブック
の作成



R3年度版はまもなく
完成します。

各高校等の御協力



資格取得に
対する補助



PR素材の作成



0:30

12

● 建設産業は、地域にとって重要産業。

災害対応の強化に向けた「国土強靱化」、過去に整備した社会資本の老朽化対策に国を挙げて取り組む中、今後も建設産業のニーズは高い。

● 深刻な担い手不足に対し、業界としても給与や休暇の処遇改善、ICT化など働き方改革や生産性向上の取組を進めているが、こうした状況が一般的には十分伝えられていない。

● 同様に、本県に存在する建設企業の情報も十分に伝えられていない。

★更なる担い手の確保に向けて

業界

・働き方改革・処遇改善
・教育機関等へのアプローチの強化

>>採用力向上、

イメージ改革とそのPR

教育

・建設産業の現状への御理解を

>>より多様な、より良い選択肢(就職先)

の提供、ミスマッチの解消

県

・業界と一体となったPR強化等

>> 情報発信の強化、各種支援策

13

◎未来へつなぐ建設産業担い手確保・育成支援事業

※R4新規事業

①県内就職や企業の採用力向上への取組支援

⇒高校生等に産業・企業を知ってもらう取組や担い手コーディネーターの設置を実施
(県建設業協会)

②情報発信の強化

⇒産業の魅力や企業情報、各種支援制度等を一体的に発信するポータルサイトを構築

③建設企業のICT化の促進

⇒建設ICT研修等を通じて、生産性向上・働き方改革に取り組む建設企業を支援

④建設技術者のキャリアアップ(資格取得等)支援

⇒技術者の資格取得や研修受講等を支援する建設企業に対する助成を実施

就活ガイドブック
の進化・深化版

[業界]上記取組①・②

・働き方改革・処遇改善 ⇒ イメージ改革
・教育機関等へのアプローチ強化、PR強化

[教育機関]上記取組①

・建設産業の現状への御理解を
⇒ より多様な、より良い選択肢(就職先)の提供等

[県]上記取組の全て

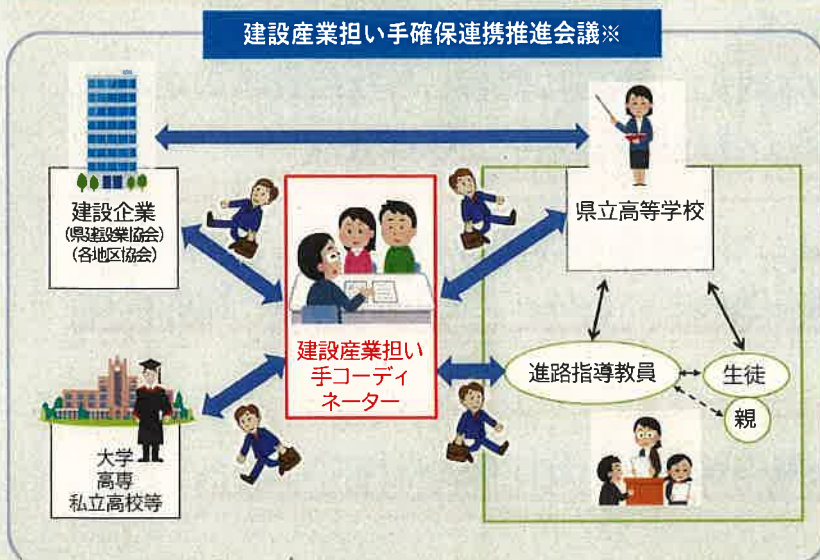
・業界と教育機関との連携強化、情報発信の強化

就職先として、
建設産業を
選択する
新卒者等の増加

14

◎未来へつなぐ建設産業担い手確保・育成支援事業

日本の
ひなた
宮崎県



◆担い手コーディネーターの主な業務

- 教育機関と連携した現場見学会やインターンシップ、出前講座等の実施
- 建設企業からの相談・助言対応
- 企業や教育機関を巡回し、教育機関側への情報提供(各地区企業の情報等)
- 教育機関から得た情報(就職活動日程や企業説明会の有無等)を企業等に情報提供
- 企業向けの採用力向上セミナーの実施など



◎「◇◇のような資料はないか?」といったお問い合わせをはじめ、既存の取組の改善要望、新たな取組のご提案など、お気軽に何でもご相談ください。
例)・寮のある会社はありますか? ・○○のような現場見学は可能ですか? など

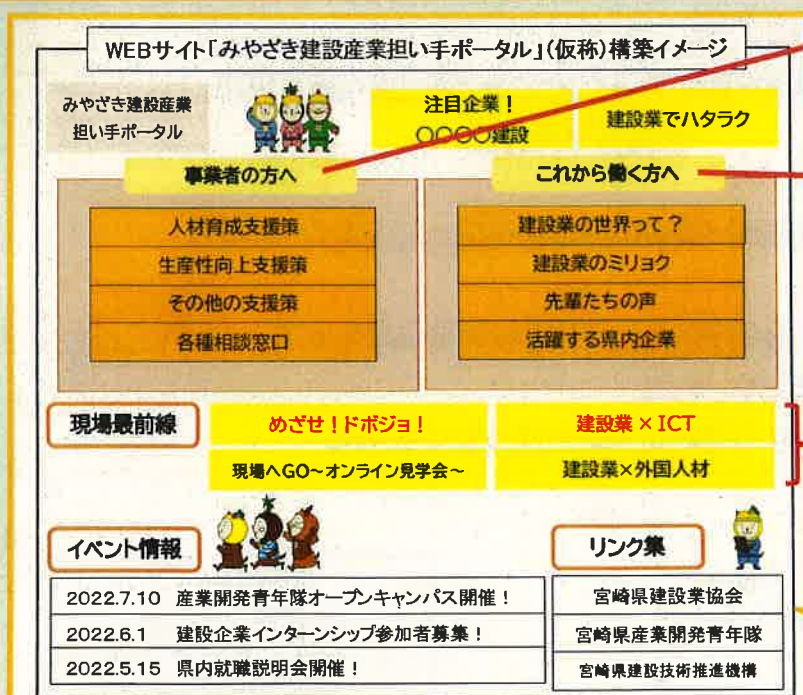
◎担い手コーディネーターとの関係づくりに御協力をお願いします。



15

◎未来へつなぐ建設産業担い手確保・育成支援事業

日本の
ひなた
宮崎県



業者の方向けには、
各種の支援策などを案内

新卒者となる方々(保護者含む)
向けには、
業界の魅力や企業情報等を案内

業者の方には、最近の話題や、
他社の取組などを知っていただく
機会として。
新卒者等の方には、業界の最近の
動向を知っていただく機会として。

スマホ等からも容易に閲覧できる
コンテンツとして整備します!

◎ポータルサイトのアイデアがありましたら、お寄せいただくとともに、
素材提供等に御協力ください。また、公開されましたら積極的な活用をお願いします。



16

<参考> 高校生の就職に対する意識等について

日本の
ひなた
宮崎県

高校生アンケート結果概要

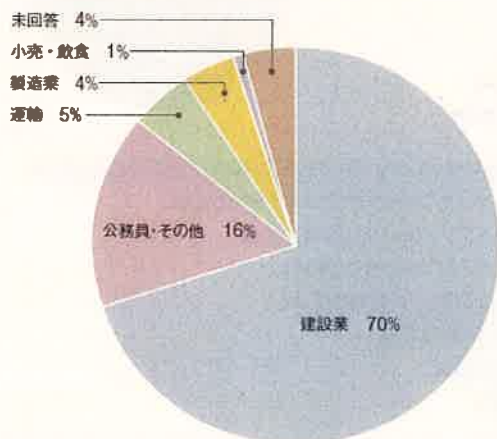
就職先の志望について

就職志望の産業と志望の意識時期

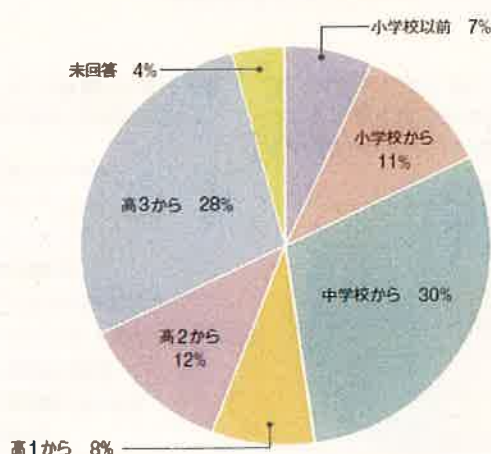
・7割の生徒が建設業と回答。次いで多かったのは公務員・その他

・建設業を選んだ時期としては、「中学校から」と「高3から」を選択した生徒がそれぞれ1/4以上を占めて上位となっている。また、高校進学までに建設業を就職先として意識している生徒は48%

●就職志望の産業は何ですか？



●就職をその産業にしようと思ったのは、いつからですか？



17

<参考> 高校生の就職に対する意識等について

日本の
ひなた
宮崎県

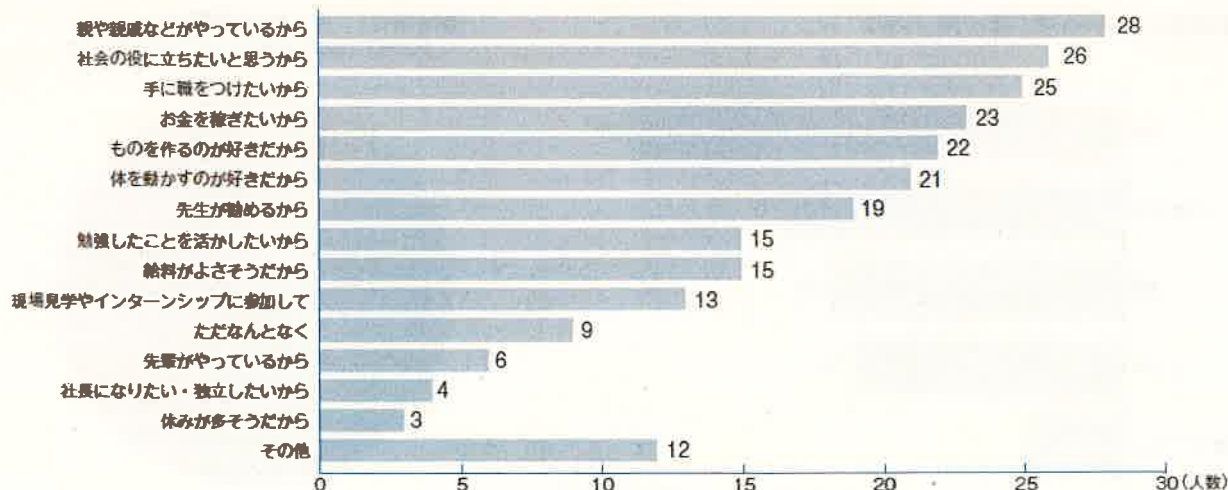
動機・きっかけ

・「親や親戚などがやっているから」という縁故からの理由が最も多い

・次いで多い回答が、「社会の役に立ちたいと思うから」と、社会貢献的な動機である

・「手に職をつけたい」「ものを作るのが好き」「体を動かすのが好き」の回答数が多い点は、工業高校生らしい傾向である一方、「お金を稼ぎたいから」という意見も多くみられる

●志望産業で働きたいと思ったきっかけは何ですか？ ※複数回答可



18

<参考> 高校生の就職に対する意識等について

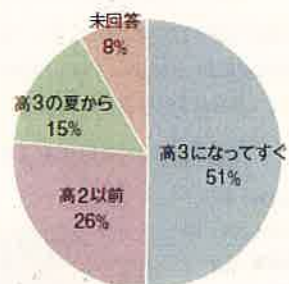
日本の
ひなた
宮崎県

内定までの道のり

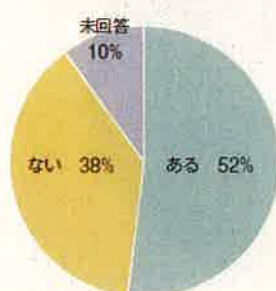
情報収集

- ・就職のための情報収集の開始時期は、「高3になってすぐ」が最も多く半数を占める
- ・求人解禁日(7月1日)以前に、入りたい会社を調べたり、会社についての話を聞いたことがある生徒は、全体の52%
- ・解禁日前に情報収集をしたと回答した生徒のうち、その情報源は「昨年の求人票」が最も多く、続いて「ホームページ」「パンフレット」が多くみられる

●就職のための情報収集はいつから始めましたか？

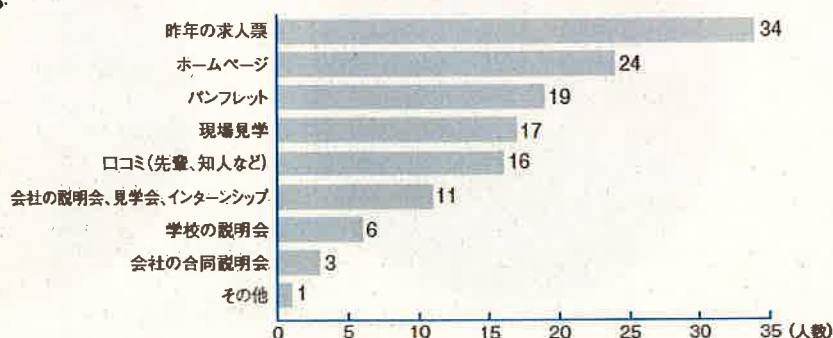


●解禁日(7月1日)より前に、入りたい会社の情報を調べたことや話を聞いたことはありますか？



●どのような機会にでしたか？

※左数順の「ある」に回答の52%のみ回答



19

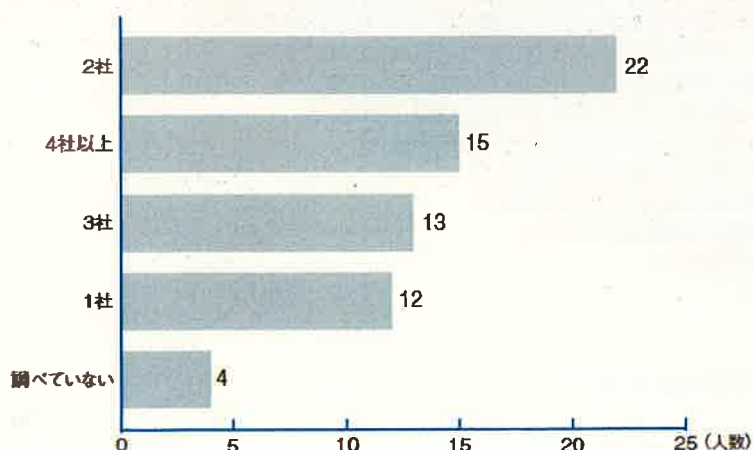
<参考> 高校生の就職に対する意識等について

日本の
ひなた
宮崎県

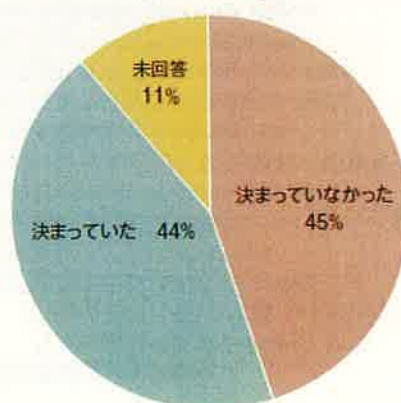
社数

- ・就職情報を収集するために調べた会社の数は、「2社」がもっとも多く、「4社以上」が続く。複数企業の情報に触れ、比較検討をしたうえで決めているといえる
- ・求人解禁日(7月1日)の時点で志望する会社が決定していたかについては、「決まっていた」と回答した生徒がほぼ半数。さらに、そのうちおよそ半数の生徒は6月の時点ですでに決まっていたと回答している

●何社くらいの情報を調べましたか？



●解禁日(7月1日)の段階で入りたい会社は決まっていたか？



20

<参考> 高校生の就職に対する意識等について

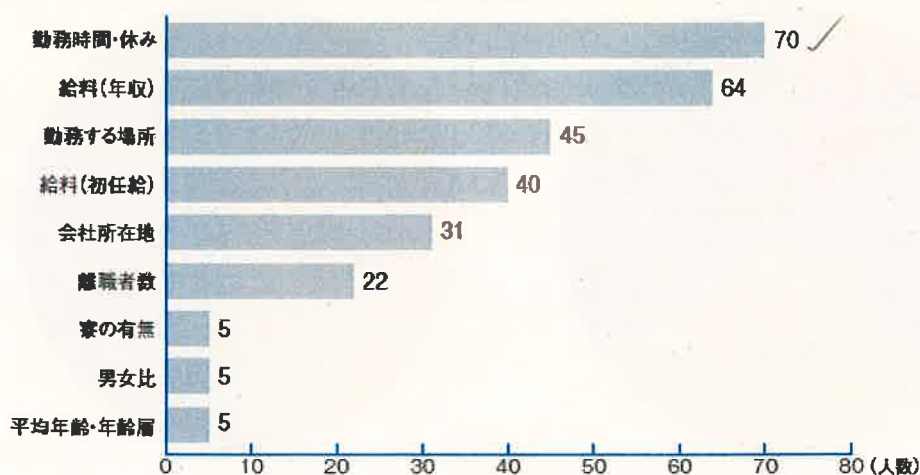
日本の
ひなた
宮崎県

求人票

・最も多い回答が「勤務時間・休み」。次いで「給与(年収)」が多くみられる。給与については「初任給」よりも、「年収」を重視していることがわかる

・続いて「勤務する場所」が多く、直接的な条件を重視する傾向がある中、「離職者数」も重視するポイントとしてあがっている

●求人票を見るうえで重視するポイントは何でしたか? ※複数回答可



21

<参考> 高校生の就職に対する意識等について

日本の
ひなた
宮崎県

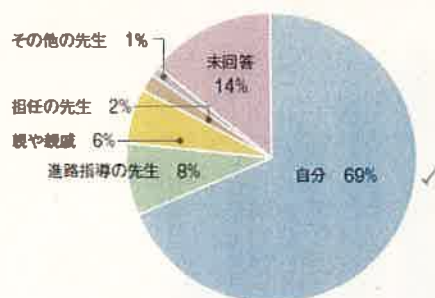
就職希望先の企業について

・就職を希望する会社は「自分」で決めたという回答が、およそ70%と圧倒的多数を占める。続いて「進路指導の先生」が多く、「親や親戚」が多くみられる

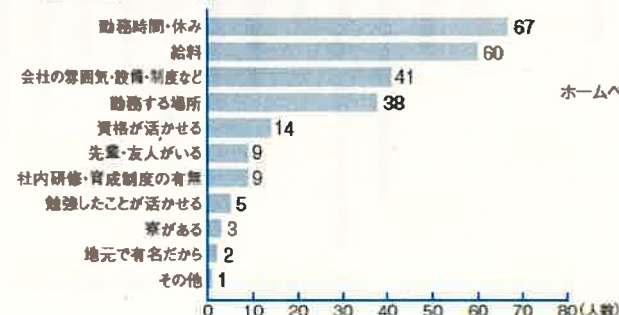
・会社を選択する際に重視するポイントについては、求人票を見る際の重視ポイントと同じく「勤務時間・休み」が最も多い。続いて「給料」「会社の雰囲気・設備・制度など」が多くみられる

・希望する企業のホームページを見ている生徒は全体の約60%

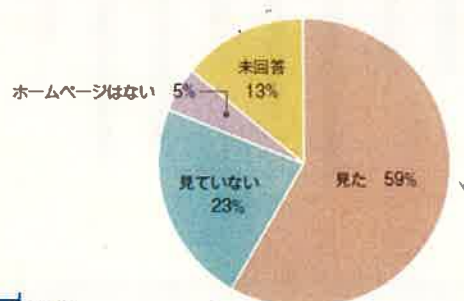
●就職希望先の会社を選択したのは誰ですか



●会社を選択する際に重視する項目は何ですか? ※重視する項目3つまで複数回答可



●希望する会社のホームページは見ましたか?



22

<参考> 高校生の就職に対する意識等について

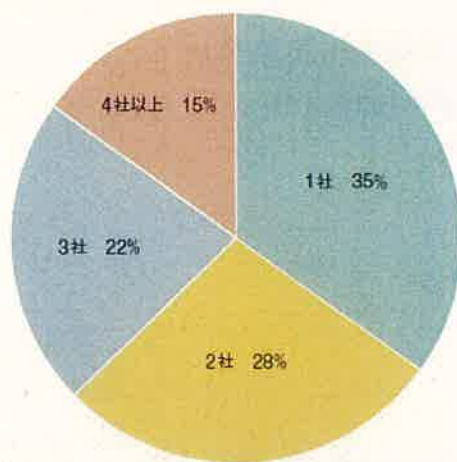
日本の
ひなた
宮崎県

内定者アンケート結果概要

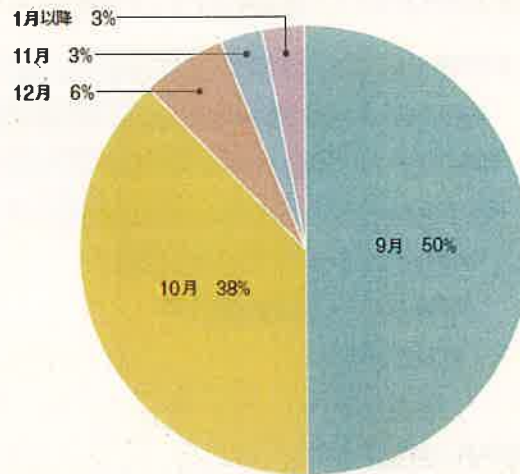
高校生が内定を取るまでの道のりと影響者の介在

求人解禁日から内定するまでの道のりについて

●学校から紹介された社数



●内定が決まった時期



- ・複数の会社を生徒に紹介する学校が、全体の6割近くを占めている
- ・「10月以降」にも2次募集などで、就職活動を継続している層が50%いる

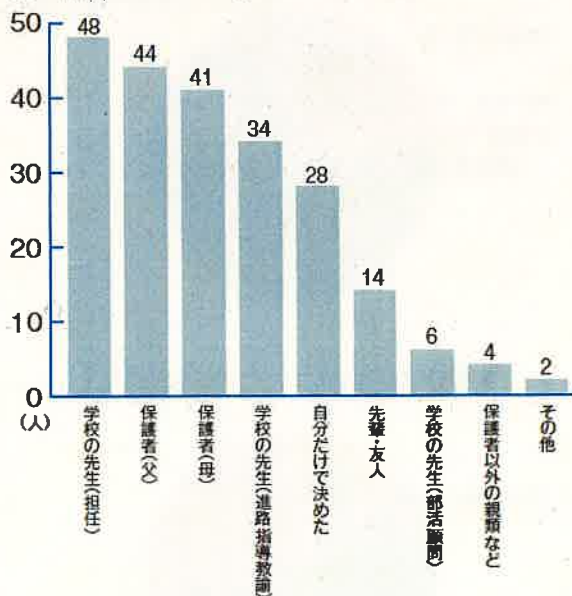
23

<参考> 高校生の就職に対する意識等について

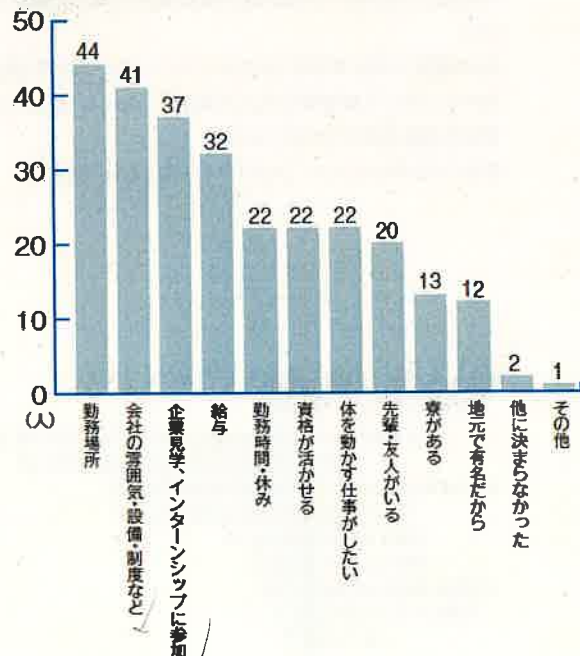
日本の
ひなた
宮崎県

内定先の決定理由について

●就職意思決定の影響者 ※3つ以内選択



●就職先決定の決め手になった理由



- ・「就職を希望する会社を決める」際には自分の意見が圧倒的に多かったが(P05より)、「就職の意思決定をする」際には自分だけというのは減少している。また、決定した理由は「勤務場所」を重視する傾向が増えている

24

内定者訓練生の 就職直前のリアルな声

社会人デビューを直前に控えた内定者たちが、仕事や会社に対してどのような不安を抱えているかなど、率直な声をまとめています

人間関係に
対する
不安



上司や先輩との人間関係。

怖い人、厳しい人がいないか、
もしいたらその中でやっていけるのか。

会社内の人たちとコミュニケーションが取れるかどうか不安。

会社の女性社員3名のうち、
もっとも若い方で30代後半。
若い人がいないため、馴染めるかとても不安。

入社前には社長としか話をしていなくて心配。

25

仕事に対する
不安



学校での実習が現場で活かせるのかどうか。

わからないことは、教えてもらえるのか。

「女性だから」と低評価になるのではないかと不安。

技術的な部分で仕事をうまくやっていけるか不安。いつ頃から現場に出るようになるのか。

仕事についていけるのか、
技術的な面で足を引っ張らないか。

26

<参考> 高校生の就職に対する意識等について

日本の
ひなた
宮崎県

仕事の 内容の 収集方法



パンフレットやホームページに掲載されている
情報を自分で検索して確認。

高2の頃から入社希望の会社が決まっていた、先生に伝えていた。
先生も下調べをしてくれて、自分でもインターンシップに参加。
希望企業も何度も学校訪問をしてくれて丁寧に説明をしてく
れていた、得たい情報を収集できた。

7月1日に企業からくる求人票と、8月に開催される会社説明会。

有益だと思った 情報、 欲しいと思った 情報



入社した際にどんな作業をするのか？
という全体的なイメージが分かるもの。

必要な資格は何か？

ホームページに動画があると、分かりやすくてよかった。

ホームページに給料のことを
もう少し詳しく書いてもらいたかった。

会社の環境・雰囲気

社員や先輩の意見(声)が聞きたかった。

27

<参考> 高校生の就職に対する意識等について

日本の
ひなた
宮崎県

RULES AND SCHEDULES

高校生採用の ルールとスケジュール

必ずおさえない基本の3つのルール

RULE

①

ハローワークの 手続きとそのスケ ジュールを知ろう

求人申込書の提出、求人票の返
戻、学校への求人票の送付また
は訪問、推薦開始期日、選考開
始期日はそれぞれ規制がありま
す。詳しくは次ページのチャ
ートをご覧ください。また年度
によって変更される場合がある
ので、必ず事業所を管轄するハロー
ワークにおたずねください。

RULE

②

1人1社制という ルール

1人の生徒が、ある会社の募集
に応募した場合、一定期間につ
いてはその選考結果が決まらな
い限り他の会社の求人に応募で
きない就職慣行があります(1人
1社制(※))。不採用の場合、通
知が遅れると生徒が他社へ応募
する機会が失われます。採否は
選考後、速やかに決定し、極力7
日以内に学校を通じて本人に通
知してください。

RULE

③

求人活動は学校を 通じて行われます

高校生の採用について、求人票
の提出、応募の受付、生徒への
連絡等は学校を通じて行います。
企業が直接家庭訪問をするこ
とは禁止されています。
高校生の採用を考える企業は、
学校との関係性を深めることが
ポイントです。

28

<参考> 高校生の就職に対する意識等について

日本の
ひなた
宮崎県

求人票作成の5つのテクニック

TECHNIC 1

募集を希望する学校がある場合は指定校求人

高校を指定して求人を出す指定校求人、高校を指定せず、どの高校からも応募できる公開求人があり、いずれかを選択できます(求人申込書に記載欄があります)。募集を希望する学校(推薦依頼校)を指定することができます。多くの企業は推薦依頼校へ求人を出しており、企業も学校もより確度の高い採用に努めています。インターネット公開希望求人は、全国の高校に対して、「高卒就職情報WEB提供サービス」(※)を通じて求人情報を提供しています。

TECHNIC 2

求人票で生徒が重視する項目は、給与、勤務地、離職率

生徒が求人票の項目の中で重視しているポイントは、給与、勤務地、離職率が多く、また仕事の内容なども読まれています。直近3事業年度の離職者数については、求人申込書に情報を記載することになりました。高校生にも分かりやすく記載することが効果的です。

TECHNIC 3

応募前の職場見学は積極的に

生徒が応募前に職場見学を行うことは、職業や職場への理解を深め、自分の目で応募先を選ぶ良い機会となります。実際に見学を行って採用につながるケースも少なくありません。また、事前の理解不足による就職後の早期離職の防止にも資することになります。また、生徒に採用選考前に直接会える貴重な場となります。ぜひこの機会を積極的に活用しましょう。

TECHNIC 4

パンフレットやインターネットを活用

求人票に記載できる内容には限りがあります。生徒たちは興味をもった企業については、パンフレットやホームページを通じて情報を収集を行います。求人票に会社のパンフレットを添付する、またホームページを活用してより多くの情報を発信することが不可欠といえます。

TECHNIC 5

求人票は持参して情報共有を図りましょう

求人票が受理されたら、企業から学校へいち早く届けることが鉄則です。7月1日の解禁日以降、近年では生徒数を大きく上回る数の求人票が学校に届きます。その中で自社を印象付けること、求人の状況を知るために、求人票は持参することをお勧めします。



◎職業系高校生の進路指導の流れ(例)

日本の
ひなた
宮崎県

※ 新型コロナウイルス感染症の状況等を考慮しない一般的なスケジュールを示したものであり、年度や学校の方針によって異なることもありますので、詳細は、各高校に確認してください。(出典:建設業振興基金資料から抜粋・一部加工)



◎就職支援エリアコーディネーターについて

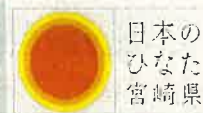


- 高校生の県内就職の促進等を目的として、各県立高校に就職支援コーディネーターが配置され、企業と学校との接点づくりに取り組んでいます。

※アポイントをとる場合は、拠点校(代表)にお電話いただき、「就職支援エリアコーディネーター」で呼び出してください。

エリア	拠点校	エリア内県立学校	
西臼杵 延岡	延岡工業	高千穂、五ヶ瀬、延岡工業、延岡商業 延岡青明、延岡、延岡星雲	7校
東臼杵 日向	日向工業	門川、富島、日向工業、日向	4校
西都 児湯	妻	妻、高鍋農業、高鍋、本庄	4校
宮崎北部	佐土原	佐土原、宮崎商業、宮崎海洋、宮崎東 宮崎大宮、宮崎北	6校
宮崎南部 県南	宮崎工業	宮崎工業、宮崎農業、宮崎南、宮崎西 日南振徳、日南、福島	7校
都城東部	都城工業	都城農業、都城工業、都城商業、高城	4校
都城西部 小林・えびの	小林秀峰	都城泉ヶ丘、都城西 小林秀峰、飯野、小林	5校

31



建設産業の担い手確保・育成に
御理解と御協力をお願いします。



32

魅力ある 土木業界に

～ 現場から考える
持続可能な地域づくり ～



宮崎県建設業協会青年部連合会
令和4年2月 施工性向上委員会
(宮崎県建設業協会 日向地区青年部)

背景 施工業者の実情 と 土木の担い手不足

労働人口減少のため、
生産性向上が必要

これまで



人手をかけて、
コストの安い
工法で施工

これから



人手をかけず、
施工性の良い
工法で施工

一人当たりの労働生産性を向上する必要がある。

地域の守り手 土木施工業者

中山間地域

- ・ 面積 9割
- ・ 人口 4割



土木施工業者の役割 その1

インフラ
整備

災害
復旧

維持
管理

※ 国土強靱化 = ハード整備 ▶ 土木技術者の確保

土木施工業者の役割 その2

中山間地域における
仕事の確保

人口割合 (国・都道府県別)	
農業、林業	9.8%
建設業	8.4%
製造業	12.4%

土木は
地域の基幹産業
〔中山間地域では、土木の
人口割合はもっと高い。〕

会社の実情

担い手確保どころではない！

中小
企業

会社規模が小さい
会社が**大多数**

赤字の
現場

利益のでない入札に
応札せざるを得ない

余裕が
無い

赤字となる現場があり、
会社経営が安定しない

求人
来ない

何年も来ていない

外国人
労働者？

限定的な従事
大人数の採用困難

技術
伝承？

技術者の高齢化

ICT
施工？

中小企業では、
資本、人材不足で困難

人手
不足

仕事があっても
社員がいない

担い手不足 の 原因と対策

労働環境

3K

(キツイ、汚い、危険)

休日不足

長時間労働

賃金不足

施工性の向上
(現場作業の効率アップ)

作業の改善

働き方改革

年収アップ

世間の認知

PR不足

イメージダウン

地位の向上
(土木の仕事の魅力アップ)

認知度アップ

イメージアップ

提案 地位の向上

地域に必要な仕事として認めてもらい
魅力的な仕事となって満足度アップ!

現在 地域に必要な仕事なのに、世間に認められていない!



地位の向上 (土木の仕事の魅力アップ)

マスコミとの連携

災害対応



建設業協会の協力により
復旧作業が進められています

開通式



〇〇建設の
△△さんです
苦勞しましたが
とてもうれしいです

「土木の日」の
パワーアップ

うちの近所の会社だ
すこい!



地域の会社が、地域の学校へ

ありがとうございます



働く人が感謝される「土木の日」

女性の活躍!

女性が活躍できる
土木を目指す!
女性も男性も働きやすい
業界にしていこう!

地位を下げる
ボランティアの改善!

点数稼ぎの
清掃ボランティア...
創意工夫という
タダ働き...

数年後...

認知度アップ イメージアップ

土木の仕事が魅力的なものになって
働く人の満足度がアップ!

人のために
なる仕事って
いいな!



やりがい



誇り
やる気が出て
仕事が楽しい!

これから「魅力ある土木業界」になるために

自分たちの力で、持続可能な地域を創る!



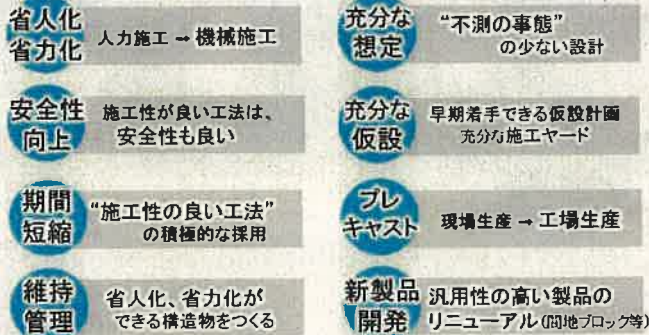
提案 施工性の向上

労働環境の問題 を改善できる!!

3K(キツイ、汚い、危険)、休日不足、長時間労働、賃金不足

生産性の向上 (1人で行う仕事量を増やす)

施工性の向上 (現場作業の効率アップ) (現場の生産性) 進んでない!



作業の改善 3Kの改善

働き方改革 週休二日 残業削減

年収アップ 利益の確保

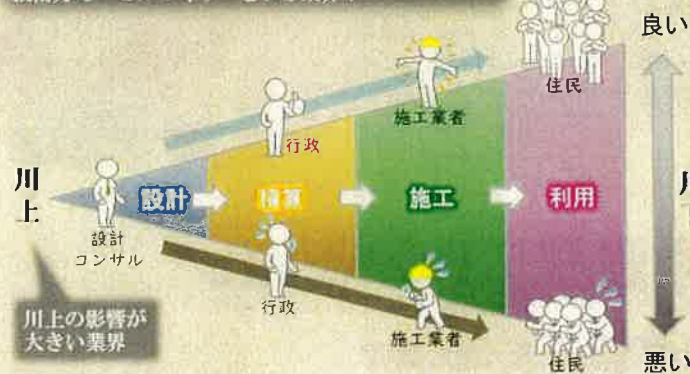
仕事とプライベートが両立できる!

土木の仕事 アリかも!

必要 業界みんなで施工性の技術力を高める!

土木業界とは... 個人の技術力で成り立っており、川上が重要!

土木で作るものは、現地一点物で世界に一つ! 標準化が難しいから、設計、積算、施工の各担当者の技術力で“モノづくり”をする業界!



施工性を向上するには? ⇒ コンサル・行政・施工業者の協力が必須!

技術力と担当者	設計の技術 コンサルの担当者	積算の技術 行政の担当者	施工の技術 施工業者の担当者
施工性を考慮できる技術	大	中	小
施工性を確認できる技術	小	中	大

それぞれ、得意な技術力が違う!

施工性の技術力を伸ばすと仕事のやりがいアップ!!

これまでコスト削減の政策の中、低コストを重視してきた... 働く人を後回しにする業界



これから現場の施工性を重視して働く人を大切にする業界へ



現場を一緒に作り上げる = 仕事のやりがいUP

建設産業担い手確保連携推進会議資料

令和 4 年 3 月 22 日
(一社) 宮崎県建築協会

当協会では、就職や担い手確保に係る取組を以下のとおり実施しております。

1 インターンシップ事業

宮崎工業高校建築学科2年の学生を会員が受注し施工中の現場に受け入れる、いわゆるインターンシップを実施している。

技術者・技能者が不足している我々の業界において、次代を担う若手技術者等の育成とともに、若い人達が県内企業に就職して、地元に残ることにつながればと考えている。

① 今までの経緯

平成9年度から実施しており、令和3年度で25年目になる。

今年度までの25年間で890名以上の生徒が参加しており、初めての建築現場の貴重な体験が得られるとともに、卒業時の進路選択にも役立っている。

② 3年度の実施状況

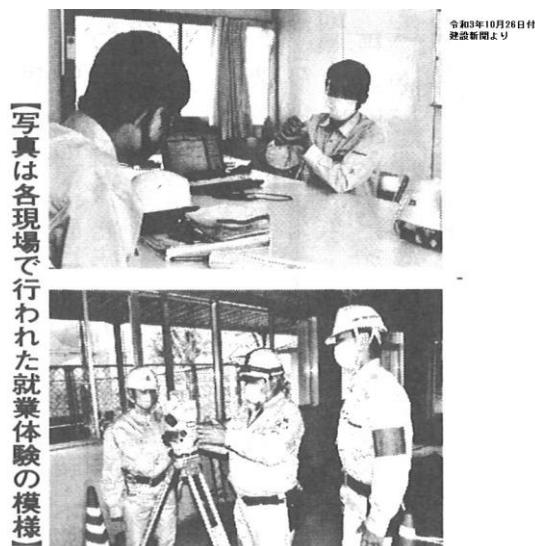
令和3年10月19日(火)～22日(金)

宮崎市内事業所の建築現場等(15企業15現場)

参加者 建築科2年生 28名

宮崎工業高校インターンシップ生徒受け入れ実績

年度	生徒数	年度	生徒数	年度	生徒数
9	39	18	41	27	33
10	39	19	39	28	33
11	37	20	37	29	34
12	41	21	41	30	32
13	38	22	38	元	34
14	38	23	34	2	31
15	38	24	32	3	28
16	37	25	29		
17	40	26	32	計	895



2 木造建築建設現場見学会

宮崎県立宮崎工業高等学校建築科 1 年生が、本協会会員の木造建築物の建築現場を見学することで、必要となる専門知識・技術について学び、併せて県内建築関連業界に対する理解を深め、県内就職を視野に入れてもらう機会とする。（令和 2 年度に続き 2 回目）

① 令和 3 年度の実施状況

令和 4 年 1 月 13 日（木）14：00 から

宮崎市高岡町

グループホーム新築工事

参加者 宮崎県立宮崎工業高等学校 建築科 1 年生 36 名



3 チームラポールによる中学生への職業講話

チームラポール（本協会内の女性建築技術者・技能者の会）の会員が中学校に出向いて、職業講話を行った。

住宅が実際にどのような手順や工法で出来ていくのかなどの講話を通じて、建築・建築業について知ってもらうとともに、将来の進路や就職の参考としてもらい、建築業への入職や地元への就職につなげていく機会とする。（令和 2 年度に続き 2 回目）

① 令和 3 年度の実施状況

令和 3 年 11 月 11 日（木）9：30 から

場所 高鍋東中学校

参加者 2 年生 87 名



担い手確保に関する取組について（令和３年度実施事業）

１．現場見学会・出前講座

現場見学会は工業系高校生を対象に平成３年度から実施している事業で、平成２５年度から出前講座とのセットで実施している。

出前講座は工業系高校に建設業経営者等を派遣し建設業の魅力を発信する事業。

感染拡大防止対策により出前講座は中止。

実施日	高 校	現場見学会
9/29	宮崎農業高校 環境工学科 ２年生 22 名(女性 1 名)	※下記見学を計画していたが、緊急事態宣言下により中止 (国 日南志布志道路橋梁下部工工事) (国 東九州道吉ノ元地区改良工事ほか)
10/14	宮崎工業高校 建築科 １年生 36 名(女性 9 名)	町 都農町重要文化財赤木家住宅保存工事 民 都農町国保病院増築工事 民 茶流通建設工事、民間事務所新築工事
10/25	都城工業高校 建設システム科 １年生 40 名(女性 10 名)	国 宮崎 10 号高木地区函渠設置工事ほか 県 山之口総合運動公園造成工事 民 センター・シティ複合施設新築工事
11/29	日向工業高校 建築科 １年生 32 名(女性 7 名)	民 都農町国保病院増築工事 町 都農町重要文化財赤木家住宅保存工事

2. 就業体験(インターンシップ)

各地区建設業協会が主体となり、県内の工業系高校の2年生を対象に平成5年度から実施している事業。

○宮崎地区建設業協会

実施日	対 象 校	生 徒	受入企業
10/26～10/29	宮崎農業高校 環境工学科 2 年	21 名	16 社
計		21 名	16 社

○都城地区建設業協会

実施日	対 象 校	生 徒	受入企業
新型コロナ 中止	都城工業高校 建設システム科 2 年	—	—
計		—	—

○日向地区建設業協会

実施日	対 象 校	生 徒	受入企業
10/13～10/15	日向工業高校 建築科 2 年	39 名	22 社
計		39 名	22 社

○延岡地区建設業協会

実施日	対 象 校	生 徒	受入企業
11/10～11/12	延岡工業高校 土木科 2 年	40 名	22 社
計		40 名	22 社

○宮崎県建築協会

実施日	対 象 校	生 徒	受入企業
10/19～10/22	宮崎工業高校 建築科 2 年	39 名	26 社
計		39 名	26 社

合 計	実 施 校	生 徒	受入企業
	工業系高校 1 校	136 名	81 社

3. その他 工業系高校に対する人材確保等に関する事業

- ・工業高校との意見交換会 2 月末計画 ※コロナ禍により中止
- ・工業系高校 優秀卒業生表彰 4 校 4 名 卒業式等において表彰
- ・工業系高校 卒業生 進路調査

4. PR等魅力発信事業①（地区建設業協会）

各地区建設業協会が主催（行政や本会が共催）し、県内の小中高校において出前講座や共同作業等を実施し入職促進とPRを図る事業。

地区協会	実施日	事業名	内 容
宮崎地区建設業協会	11/9	出前講座 実 演	宮崎農業高校 環境工学科 28 名 建設業の魅力について（座学） ドローン・ICT 建設機械実演
	11/26	出前講座	宮崎大学 社会環境システム工学科 2 年生 55 名 建設業の魅力について（グループ討議）
小林地区建設業協会	7/16	専門職講座	小林西高等学校 1 年生対象 約 60 名 協会 7 名 講話 1 時間、ドローン体験 1 時間
	9/13～ 12/20	長期インターン シップ	小林西高等学校との共催 会員企業 3 社による 3 名受入
西都地区建設業協会	7/8	キャリア教育 校内ハローワーク	穂北中学校 体験学習（重機操作体験・高所作業車体験）
日向地区建設業協会	11/10	県内企業説明会	日向工業高等学校 建築科 2 年生 39 名 業者 9 名 企業の情報や働く人の生の声を提供することで 生徒の視野を広げる
延岡地区建設業協会	7/26	出前講座	延岡小学校 6 年 28 名 テーマ「子どもたちに伝えたいこと」
	11/24	出前講座	一ヶ岡小学校 6 年 40 名 講座「よのなか教室」
高千穂地区建設業協 会・青年部	11/ 9	出前講座 校内ハローワーク	日之影中学校 1 年生 29 名 青年部 7 名 ・レンガで橋造り ・高所作業車体験

5. PR等魅力発信事業②

県内の学校において担い手確保のための入職促進とPRを図る事業。

協会等	実施日	事業名	内 容
宮崎県建設業協会 青年部連合会	土木の 日	担い手確保事業 (下敷き配布)	子ども達に建設業の魅力や役割を知ってもらう ため、建設業の役割や現場で活躍する建設機械等 を紹介する下敷きを作成 ○配 布 県内11地域 土木の日にて小学生へ ○下敷き 表) 一人前の技術者を目指すジャンケン双六 裏) 建機及び機器のイラスト・説明

6. 建設技術フェア

本会と県との共同事業である建設産業人材育成・確保事業の一環として、平成25年度から青年部連合会が毎年宮崎テクノフェアにて同時開催として建設技術フェアを実施・PR。

実施日	会 場	参加者	出展内容
12/3~4	宮崎県 体育館	青年部連合会 11 支部長 宮崎地区建設業協会青年部	※県人材確保事業 ・バックホウによる魚釣り体験 ・高所作業車試乗体験 ・レンガ橋の模型製作と渡る体験 ・ICT、テレビCM放映 ・協会担い手確保活動のパネル展

7. テレビCM

30秒CM「夢を抱いた日」篇・「一歩ずつ（青年隊募集篇）」篇・「未来へ」篇の3部作シリーズと15秒CMタイムラプスCM橋梁篇を下記日程にて広告PR。

また、令和3年10月よりリニューアル版「業界PRCM（ICT篇）（青年隊募集篇）」を放映。

①民法番組提供枠テレビCM

4月～3月まで1年を通し毎週土曜日、UMKとMRTの2社にて放映。

②シネアドCM広告

イオンモール宮崎セントラルシネマにて8月～3月に放映。

9スクリーンにて約1350回／月。年間動員数 約65万人

8. 宮崎県建設産業若年入職者確保・定着支援事業

平成28年度に県の3か年事業を本会が受託し本年度が6年目になる。失業中の若年求職者を雇用した協力事業所が就業定着化に必要な研修等を実施することで、必要経費の1/2（上限65万円、最長5ヵ月）を助成する事業。

令和3年度をもって終了予定。

- | | |
|----------|----------------------------------|
| ①3年度事業予算 | 1,100万円 |
| ②対象者 | 失業中の40歳未満で、新規に正規雇用された建設技術者及び技能者等 |
| ③雇用指標 | 13名／13社 |
| ④雇用実績 | 12名／10社 ※予算に達したため募集終了 |



9. 建設産業外国人材確保支援事業

建設産業における外国人材の活用の促進及び確保を図るため、一定の専門性や技能を有する外国人材を受け入れる建設業者に対し、雇用の際に必要な経費について、助成対象経費の1/2（上限20万円）を補助する事業。県からの受託事業。

- | | |
|-----------|---------------------------------|
| ①3年度事業予算 | 200万円 |
| ②補助対象者 | 建設業許可を有する宮崎県内に本店がある建設業 |
| ③補助対象在留資格 | 高度専門職、特定技能1号・2号
※技能実習生は補助対象外 |
| ④雇用指標 | 9名 |
| ⑤補助実績 | 1名 ※水際対策強化による入国禁止により実績減 |



【日塗装宮崎県支部 奉仕活動経歴】

*平成9年より日本塗装工業会が11月16日を【いい色塗装の日】と制定し全国各県支部に於いて、ボランティア活動を実施。

年	実 施 場 所	地区
S・62～	県内の信号機100ヶ所の塗装奉仕活動を実施	
H・6	向陽の里・宮崎民生館・さくら学園・金鈴学園・友愛館	
H・7	都城ろう学校	
H・8	並木保育園・こばと保育園・むつみ保育園・都北学園・さつき園・有隣園・ひなもり園	
H・9	望洋園（佐土原町）・向陽の里（国富町）・富吉保育園（宮崎市）・平松保育園（宮崎市） みずほ保育園（宮崎市）・ぎんなん保育園（宮崎市）	
H・10	みどり学園	県北
H・11	霧峰園（山田町）・東岳荘（山之口町）：たちばな荘（高崎町）・南保育園（小林市）	県南
H・12	カリタスの園（宮崎市）・南部福祉センター（宮崎市）・みやざき荘（宮崎市）・静和園（西都市）	県央
H・13	みのり園・中島保育所	県北
H・14	都原の福祉施設・都北学園・市郡医師会病院	県南
H・15	宮崎市内3ヶ所	県央
H・16	ひかり学園・延岡中学校	県北
H・17	県立特別養護老人ホーム霧島荘	県南
H・18	県立盲学校	県央
H・19	延岡南養護学校	県北
H・20	都城きりしま支援学校	県南
H・21	県立赤江まつばら支援学園	県央
H・22	延岡ライトハウス	県北
H・23	都城きりしま支援学校	県南
H・24	県立みなみのかぜ支援学校	県央
H・25	日向市ひまわり支援学校	県北
H・26	都城さくら聴覚支援学校	県南

【日塗装宮崎県支部 奉仕活動経歴】

年	月日	実施場所	作業内容	体験教室生徒参加者	地区
2015年 (H・27)	12/14 ～17	宮崎県立宮崎工業高等学校	・中庭自転車小屋サンダーケレン (C形甲) 錆止め塗り ・建築科校舎階段室及び通路養生・下地調整 ・建築科教室前・通路及び階段室 GP/1 駅ケレン塗装	建築科1年生 39名	県央
2016年 (H・28)	11/15	宮崎県立日向工業高等学校	・管理棟廊下の腰壁・新色塗替え	建築科2年生 30名	県北
2017年 (H・29)	11/20	宮崎県立都城さくら聴覚支援学校	・機械室棟の外壁洗浄清掃 (4棟) ・正門周り塀の洗浄清掃 ・正門から校舎裏駐車場への誘導用矢印・パーキング印塗装		県南
2018年 (H・30)	11/5 ～7	宮崎県立宮崎工業高等学校	・足場架設 ・養生・下地処理・下塗り等準備 ・「体験教室」塗替え作業実施	建築科2年生 40名	県央
2019年 (R・1)	11/25	宮崎県立日向工業高等学校	・1年生製図室・2・3年生製図室の腰壁・新色塗替え ・廊下・階段部分の塗装	建築科1年生 39名	県北
2020年 (R・2)	11/18	宮崎県立都城工業高等学校	・1年生製図室・2・3年生製図室の腰壁・新色塗替え ・廊下・階段部分の塗装	インテリア科 1年生 40名	県南
2021年 (R・3)	2/9	宮崎県立宮崎工業高等学校	・建設業体験教室8業種 (宮崎県塗装技能士会)	建築科2年生 36名	朽木/ 入田
2021年 (R・3)	11/16	宮崎県立宮崎工業高等学校(予定)	・階段教室等2ヶ所	建築科2年生 37名	県央

ーものづくり体験教室ー

【2021年度】

県央（3）

開催地	会 場	実施日	参加者
宮崎市	大淀中学校	6/23（水）	22人
宮崎市	広瀬中学校	7/6（火）	19人
西都市	木花中学校	11/4（木）	19人
小 計			60人

県南（1）

開催地	会 場	実施日	参加者
都城市	上長飯小学校	6/16（水）	20人
都城市	西中学校	1/20（木）	20人
小 計			20人

中止

県北（1）

開催地	会 場	実施日	参加者
都農町	都農東小学校	9/13（月）	13人
延岡市	旭小学校	12/8（水）	19人
小 計			19人

中止

【2019年度】

県央（4）

開催地	会 場	実施日	参加者
宮崎市	国富小学校	7/5（金）	20人
西都市	穂北中学校	7/11（木）	17人
宮崎市	宮崎県教育研修センター	8/11（日）	12人
宮崎市	宮崎西小学校	11/19（火）	15人
小 計			64人

県南（3）

開催地	会 場	実施日	参加者
都城市	中郷中学校	6/21（金）	15人
都城市	五十市中学校	7/4（木）	21人
都城市	西中学校	2/1/23（木）	20人
小 計			56人

県北（2）

開催地	会 場	実施日	参加者
延岡市	南小学校	6/22（土）	20人
五ヶ瀬町	五ヶ瀬中学校	10/24（木）	18人
小 計			38人

【2020年度】

県央（3）

開催地	会 場	実施日	参加者
宮崎市	潮見小学校	7/1（水）	18人
宮崎市	宮崎小学校	11/20（金）	20人
西都市	妻南小学校	11/24（火）	17人
小 計			55人

県南（3）

開催地	会 場	実施日	参加者
小林市	小林中学校	11/2（月）	17人
都城市	五十市中学校	11/27（金）	20人
都城市	西中学校	2/4（木）	18人
小 計			55人

県北（1）

開催地	会 場	実施日	参加者
延岡市	旭小学校	3/1/14（木）	19人

（中止）

【2018年度】

県央（4）

開催地	会 場	実施日	参加者
宮崎市	赤江中学校	6/25（月）	18人
西都市	穂北中学校	7/12（木）	19人
宮崎市	高岡小学校	11/15（木）	17人
宮崎市	宮崎北中学校	11/10（金）	18人
小 計			72人

県南（4）

開催地	会 場	実施日	参加者
えびの市	上江小学校	6/7（木）	17人
三股町	三股小学校	6/17（日）	19人
小林市	小林中学校	10/16（火）	21人
都城市	都城西中学校	1/24（木）	22人
小 計			79人

県北（5）

開催地	会 場	実施日	参加者
延岡市	岡富中学校	6/26（火）	20人
延岡市	南小学校	7/7（土）	19人
椎葉村	椎葉中学校	10/12（金）	23人
椎葉村	松尾小学校	11/6（火）	18人
延岡市	南方小学校	11/17（土）	22人
小 計			102人

【奉仕活動】



【活動前の説明状況】



【テレビ取材状況】



【作業風景】



【ものづくり体験教室】



宮崎大学 工学部 社会環境システム工学科 就職・進学状況

	2022年3月卒業			2021年3月卒業			2020年3月卒業		
	県内	県外	合計	県内	県外	合計	県内	県外	合計
進学	9	4	13	15	2	17	8	0	8
国家公務員	—	0	0	—	2	2	—	2	2
地方公務員	6	3	9	1	5	6	8	10	18
旧公団	—	2	2	—	1	1	—	0	0
建設会社	0	17	17	1	10	11	0	19	19
コンサルタント	1	8	9	2	4	6	2	2	4
その他	0	0	0	0	3	3	1	5	6
未就職	0	1	1	0	0	0	0	1	1
合計	16	35	51	19	27	46	19	39	58
			100.0%			100.0%			100.0%

宮崎大学大学院 工学研究科 修士課程 工学専攻 環境系コース 就職状況

	2022年3月修了			2021年3月修了			2020年3月修了		
	県内	県外	合計	県内	県外	合計	県内	県外	合計
地方公務員	1	0	1	0	1	1	0	1	1
建設会社	0	4	4	0	4	4	0	2	2
コンサルタント	0	2	2	0	3	3	1	1	2
その他	0	0	0	0	1	1	0	1	1
合計	1	6	7	0	9	9	1	5	6
			100.0%			100.0%			100.0%